

| | | | |
|--|--|-----|-------|
| 研究課題 (テーマ) | 教育用電子カルテ教材「Medi-EYE」とバーチャルコミュニティを統合した ICT 活用型シミュレーション教育システムの開発 | | |
| 研究者 | 所属学科等 | 職 | 氏名 |
| 代表者 | 看護学部看護学科 | 講師 | 杉山由香里 |
| | 看護学部看護学科 | 准教授 | 小林絵里子 |
| | 看護学部看護学科 | 助教 | 竹口将志 |
| | 看護学部看護学科 | 助教 | 室谷寛 |
| | 看護学部看護学科 | 講師 | 中堀伸枝 |
| | 看護学部看護学科 | 助教 | 村上利矢子 |
| | 看護学部看護学科 | 助教 | 岡田麻代 |
| | 看護学部看護学科 | 教授 | 河野由美子 |
| 研究結果の概要 | | | |
| <p>【背景・目的】 文部科学省では ICT 等のデジタル技術を用いた教育の改革が早急に求められており、日本看護系大学協議会においても ICT 等を活用した看護教育の重要性を示している。本学では、令和 4 年度より教育用電子カルテ教材を導入したが、対象者の症状や疾患の理解、看護援助にとどまり、対象者が暮らす環境や地域の理解には至っていない現状がある。そこで本研究は、仮想空間で対象者と地域に密着した現実感のある教材を作成し、昨年度作成した電子カルテ教材と連動する教材「バーチャルタウン」の開発を目的とした。</p> <p>【方法】 令和 4 年度に看護学部全 9 領域の WG メンバーで考案したバーチャルタウン原案をもとにバーチャルタウンに組み込む家族や施設等を決定した。その後、バーチャルタウンの作成および、タウン内の対象者と教育用電子カルテ教材を統合した Web サイトの作成は外部委託業者に依頼した。</p> <p>【結果】 対象者の家庭や地域で生活していることへの理解を深めながら学習できる教材として富山県立大学版バーチャルタウンを作成した。</p> <p>【バーチャルタウンの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県立大学周辺をイメージした富山県立大学オリジナルタウン ・ タウンに住んでいる家族は 15 家族 (2024.4 時点) ・ 住宅のイラストをクリックすると教育用電子カルテへリンクし、対象者の入院カルテが閲覧できる ・ 学外からもアクセスが可能であり、学習場所を選ばず学習可能 <p>その他、実践の場面を再現しながら学習するためのシミュレーション教育の導入の準備を行った。</p> | | | |
| <p style="text-align: right;"><バーチャルタウントップ画面></p>  <p style="text-align: right;">Web サイト作成：株式会社リービー</p> | | | |
| <p>今後の展開</p> <p>バーチャルタウンの教育効果や課題を抽出し、学生が主体的に学修に活用できるタウンとなるよう機能を拡張していく予定である。</p> | | | |